

平成16年度事業報告書

第1 事業概況

1. 選手強化育成に関する事業

(1) ナショナルチームの強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	①	平成16年6月14日～6月19日	3	19	三重県鈴鹿市
	②	平成16年7月24日～7月29日	3	11	三重県鈴鹿市
	3	平成16年10月7日～10月12日	4	7	三重県鈴鹿市
	4	平成16年11月14日～11月20日	4	7	タイ・チェンマイ
	5	平成16年12月1日～12月4日	3	6	東京都北区、千葉県成田市
	6	平成17年3月7日～3月12日	3	16	三重県四日市市
女子	①	平成16年6月28日～7月3日	4	12	広島県広島市
	②	平成16年7月24日～7月29日	3	13	三重県鈴鹿市
	3	平成16年10月7日～10月12日	3	7	三重県鈴鹿市
	4	平成16年11月14日～11月20日	3	7	タイ・チェンマイ
	5	平成16年12月1日～12月4日	3	6	東京都北区、千葉県成田市
	6	平成17年3月6日～3月11日	3	18	広島県広島市

(注1) 男子・女子ともに第4回の合宿は、第5回アジア選手権大会に向けて大会会場での日本選手団の合宿である。

(注2) 2～5回は、男女合同合宿である。

(注3) ○印は(財)日本オリンピック委員会の委託(2,056,000円)あり。

(2) ジュニア選抜強化チーム(ジュニアナショナルチーム)の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	1	平成16年4月27日～5月2日	3	18	三重県四日市市
	2	平成17年3月7日～3月12日	3	20	三重県四日市市
女子	1	平成16年10月1日～10月6日	3	18	広島県広島市
	2	平成17年3月9日～3月14日	3	19	広島県広島市

(3) 強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。

アジア選手権大会予選	横江 忠志 西田 豊明 北本 英幸 斉藤 広宣
	渡部 政治 若梅 明彦 若梅 明彦 神崎 公宏
	小野寺 剛 中本 裕二 林 三千夫
全日本シングルス選手権大会	斉藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦 中本 裕二
全日本高校選手権大会	小野寺 剛
全国中学校大会	中本 裕二
全日本社会人選手権大会	北本 英幸 斉藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦
全日本ジュニア選手権大会	小野寺 剛
全日本選手権大会	横江 忠志 西田 豊明 北本 英幸 斉藤 広宣
	渡部 政治 若梅 明彦 若梅 明彦 神崎 公宏
	小野寺 剛 中本 裕二 林 三千夫
全日本インドア選手権大会	北本 英幸 渡部 政治 若梅 明彦

2. 指導者養成に関する事業

(1) 全国高体連ソフトテニス専門部との共催で全国高等学校指導者研修会を次のとおり実施した。

- ・期 日 平成16年11月26日(金)～27日(土)
- ・場 所 東京簡易保険郵便年金会館「ゆうぽうと」
- 参加者 日本連盟 笠井達夫(専務理事) 瀬戸幹男(事務局長)
川上晃司(ナショナルチーム・トレーナー)
- 高体連関係者 60名

・研修内容

1日目

- 1) 「主催者あいさつ」 朝倉文人(担当理事-高体連部長)
- 2) 研究討議
 - ①強化事業について
 - ②普及事業・審判技術について
 - ③外部指導者について

3) 講演

「年間を通じたナショナルチームの活動からチーム強化を考える」
講師 川上晃司(スポーツインテリジェンス代表)

2日目

- 4) 日本連盟との懇談
 - ①長期基本方針について
 - ②競技者育成プログラムについて
 - ③指導者ハンドブックについて

(2) (財)日本体育協会公認 ソフトテニスC級コーチ養成講習会は公認スポーツ指導者制度改定及び講習内容を精査するため、16年度は実施せず。

(3) 地域スポーツ指導者養成事業

ア. C級スポーツ指導者養成講習会専門科目開催(東京 34名、山梨 12名、静岡 14名、長崎 45名)

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し、会員登録(一般)の10%を還元し、地域クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。

また、各支部に対しソフトテニスの日・中学生大会・レディース大会・指導者バンクの補助を行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注)別表1(P34~36)の内容参照

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー88名を認定した。 マスターアンパイヤー29名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

1 級	新 規	1 5 3
	更 新	2 6 2
2 級	新 規	5, 4 9 9
	更 新	4, 8 2 3
	高 校 生	2 0, 2 4 6
ジュニア		1 0, 7 8 7

(注)都道府県別認定者掲載数は別表2(P37)に掲載

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
1 級	405	328	405	304	410
2 級	7,567	7,434	8,821	11,845	9,657
高 校 生	9,192	8,548	10,572	10,940	14,533
ジュニア	5,504	7,577	9,060	9,247	11,931

(4) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成17年1月8日～9日	東京体育館	45
	平成17年1月29日～30日	阿倍野スポーツセンター	51
研修会	平成17年1月22日	海老名市立中央公民館	52
	平成17年2月6日	秋田テルサ	34
	平成17年2月6日	徳島市B&G海洋センター	25
	平成17年2月12日	福山市体育館	37
	平成17年2月13日	大府市民体育館	23
	平成17年2月20日	宮崎県総合運動公園合宿所	25
	平成17年2月26日	富山県総合体育センター	35
	平成17年2月27日	光華中・高等学校体育館	24

(5) 競技規則書を27,613冊と英文ルールブック2冊を頒布した。

採点票8,640冊・オーダー用紙1,143部を頒布した。

7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員79名を認定した。

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
人数	2	15	6	6	243

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

	マスター	EX	S-Ex	SP	S-SP	1級	2級	3級	4級	計
申請	2	95	13	270	13	517	1,026	814	3,560	6,389

(注) 都道府県別認定者数は別表3 (P38) に掲載

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
人数	3,268	5,543	5,750	5,666	6,130

8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙493,115枚 ネット証布2,800枚を頒布した。

参考：過去5年間の実績 (数値：枚)

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
ラケット証紙	410,951	414,990	517,400	612,100	498,070
ネット証布	3,700	3,300	3,000	3,800	4,200

(2) 5社35種類のラケットを公認した。

9. 広報に関する事業

- (1) 機関誌「ソフトテニス」の発行(毎月1回)
購読者数 支部購読1,656名 個人購読461名
- (2) 主要大会のテレビ放映
スポーツ衛星放送チャンネル「ガオラ」のレギュラー番組として、次のとおり放映した。

放映月	大会名
4	2003年ベストセレクション
5	全日本女子選抜大会
6	全日本シングルス選手権大会
7	全日本大学選抜王座決定戦
8	全日本小学生選手権大会
9	全国中学生大会
10	全日本レディース決勝大会
11	全日本ソフトテニス選手権大会
12	国民体育大会
1	アジア選手権大会
2	全日本東京インドア
3	全日本インドア選手権大会

- (3) 第59回全日本選手権大会(広島市)がNHK教育テレビで、昨年につき放送される。
- (4) 平成16年度大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。
- (5) インターネットのホームページを継続した。
アドレス <http://www.soft-tennis.com/> → (7月7日より) <http://www.jsta.or.jp>
メール softtennis@japan-sports.or.jp → (同上) info@jsta.or.jp

10. 各種表彰の実施

- (1) 平成16年12月4日の連盟創立80周年記念式典の中で、平成16年度の各種表彰を行い、代表者に賞状・メダル等を授与した。
表彰の内訳は、次のとおりである。
本部功労者
支部功労者
優良団体
ランキング
最優秀監督 優秀監督
最優秀選手 優秀選手
読売スポーツ賞
JOCジュニア・オリンピックカップ最優秀選手

国際大会入賞者 (17-18ページ参照)

平成16年度 支部功労者・優良団体推薦一覧

	支部名	功労者	功労者	優良団体
1	北海道	下田 良夫	日沼 保	根室ソフトテニス協会
2	青 森	田頭 公夫	角谷 守通	八戸工業大学第一高等学校ソフトテニス部
3	岩 手	高橋 等	吉田 洋一	一戸町ソフトテニス協会
4	宮 城	千葉 信夫	梅森 正	長命ヶ丘ジュニアソフトテニスクラブ
5	秋 田	大淵 紘一	佐藤 信孝	十文字町ソフトテニス協会
6	山 形	安藤 〃	該当なし	鶴岡ソフトテニススポーツ少年団
7	福 島	青木 信博	藤田 晴史	浪江花クラブ
8	茨 城	寺門 恵子	石井 啓子	茨城県立日立北高等学校
9	栃 木	野城 良弘	渡辺 清二	芳賀ソフトテニスクラブ
10	群 馬	小山 伸樹	根岸 明宏	新町ジュニアソフトテニスクラブ
11	埼 玉	矢島 宏行	権田 富久	秩父ソフトテニス連盟
12	千 葉	山村 嘉一	竹林 正芳	花見川ジュニアクラブ
13	東 京	西田 豊明	和田 伸一	板橋クラブ
14	神奈川	福田 稔	君塚 亮一	小槻クラブ
15	山 梨	権正 和昭	羽中田 弘巳	山梨県立石和高等学校ソフトテニス部
16	新 潟	植松 保	宮嶋 留美子	見附市ソフトテニススポーツ少年団
17	長 野	平林 美津子	若林 武夫	明科町ソフトテニスクラブ
18	富 山	末永 優	堀 哲夫	富山県立富山工業高等学校ソフトテニス部
19	石 川	新家 廣	宮野 貞二	志賀町ソフトテニス協会
20	福 井	朝倉 義男	魚見 一成	福井市宝永クラブ
21	静 岡	市川 博	高木 勝也	千本クラブ
22	愛 知	桜井 通治	牧 壮一	今伊勢ソフトテニスクラブ
23	三 重	川喜田 博行	福島 弘子	三重高クラブ
24	岐 阜	小川 哲也	中屋 卯三郎	岐南ジュニアソフトテニスクラブ
25	滋 賀	野々口 淑子	福地 茂	蒲生町スポーツ少年団ソフトテニス部
26	京 都	増井 洋	生石 正観	城陽ソフトテニス連盟
27	大 阪	大西 亘	清水 信彦	東大阪市ソフトテニス協会
28	兵 庫	友藤 章	森崎 俊夫	甲南女子大学ソフトテニス部
29	奈 良	奥田 茂	加藤 守弘	TMクラブ
30	和歌山	谷口 英雄	該当なし	該当なし
31	鳥 取	松尾 富美子	石田 昌弘	日南銀杏テニスクラブ
32	島 根	下隅 那美子	高見 敏彦	江津ジュニアソフトテニスクラブ
33	岡 山	田村 裕史	藤井 隆	倉敷市役所
34	広 島	手嶋 信彦	大沢 芳樹	三庄ソフトテニスクラブ
35	山 口	片山 潤之	横川 小夜子	防長クラブ
36	徳 島	岩脇 真二	杉野 弘晃	徳島県立脇町高等学校
37	香 川	西岡 幹雄	田宮 浩一	JR四国ソフトテニスクラブ
38	愛 媛	菊本 泰彰	大西 一志	東予市ソフトテニス連盟
39	高 知	横江 忠志	高橋 佳奈	須崎市立朝ヶ丘中学校ソフトテニス部
40	福 岡	中野 賢治	高田 正代	福岡県OGソフトテニス連盟
41	佐 賀	中野 隆憲	山田 洋	大和町立大和中学校ソフトテニス部
42	長 崎	森 淳太郎	馬場 芳則	該当なし
43	熊 本	米村 徹	荒木 重幸	(株)ウエムラテック
44	大 分	白水 厚二	該当なし	該当なし
45	宮 崎	久保田 熊男	轟木 秀一	千草ソフトテニスクラブ
46	鹿児島	松元 ミチエ	角野 俊朗	健球クラブ
47	沖 縄	砂川 充男	玉城 徳子	今帰仁クラブ

最優秀監督	実業団	男子	玉岡 良仁 (京都市役所)
		女子	金冶 義昭 (東芝姫路)
大 学		男子	田 中 弘 (中央大学)
		女子	武田 博子 (東京女子体育大学)
高 校		男子	中津川 澄男 (東北高等学校)
		女子	加藤 陽彦 (高崎健康福祉大学高崎高等学校)
中 学		男子	水越 章 (向陽中学校)
		女子	木坂 美知子 (向陽中学校)
小学生		男子	土松 達哉 (岐阜県)
		女子	西 吉 和 (石川県)

優秀監督	実業団	男子	曾川 剛 (N T T 西日本広島)
		女子	古賀 俊彦 (サンライフ)
大 学		男子	浜田 武徳 (早稲田大学)
		女子	西田 豊明 (日本体育大学)
高 校		男子	西森 卓也 (高田商業高等学校)
		女子	櫻井 太郎 (奈良育英高等学校)
中 学		男子	三井 松夫 (鶴川中学校)
		女子	青田 博道 (日南中学校)
小学生		男子	加藤 守弘 (奈良県)
		女子	大野 淳文 (新潟県)

最優秀選手	男子	浅川陽介・小峯秋二 (日体桜友会・高岡ビッグウェーブ)
	女子	渡邊梨恵・堀越敦子 (N T T 西日本広島)

優秀選手	男子	花田直弥・川村達郎 (京都市役所・岡山市役所)
	女子	玉泉春美・上嶋亜友美 (東芝姫路)

敢闘選手	男子	的場 彬・尾木暁夫 (中央大学)
	女子	渡辺愛子・平田清乃 (東京女子体育大学)

読売スポーツ賞		渡邊梨恵・堀越敦子 (N T T 西日本広島)
---------	--	-------------------------

JOC ジュニアオリンピックカップ

男子	宮下 裕司 (同志社大学)
女子	杉本 瞳 (就実高校)

11 . 国際競技大会への代表選手団等の派遣

(1) 第5回アジア選手権大会

タイ・チェンマイに於いて 平成16年12月7日～12日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団 長 横江 忠志 (強化委員長)
総 務 橋本 茂樹 (ナガセケンコー)
男子監督 北本 英幸 (小松市立高等学校教諭)
コ ー チ 斉藤 広宣 (松戸市役所)
トレーナー 川上 晃司 (スポーツインテリジェンス)
選 手 中堀 成生 (NTT西日本広島)
高川 経生 (NTT西日本広島)
花田 直弥 (京都市役所)
川村 達郎 (岡山市役所)
菅野 創世 (明治大学)
小林 幸司 (日本体育大学)

女子監督 渡部 政治 (広島女子商学園高等学校長)
コ ー チ 若梅 明彦 (九十九里高等学校教諭)
トレーナー 宮下 智世子 (野村病院)
選 手 玉泉 春美 (東芝姫路)
上嶋 亜友美 (東芝姫路)
渡邊 梨恵 (NTT西日本広島)
堀越 敦子 (NTT西日本広島)
河野 加奈子 (ナガセケンコー)
濱中 洋美 (日本体育大学)

イ. 参加国 日本、中国、中華台北、インド、インドネシア、カザフスタン、韓国、キルギスタン、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、タイ、カンボジア

ウ. 成績

金メダル 女子団体

(玉泉春美・上嶋亜友美・河野加奈子・濱中洋美・渡邊梨恵・堀越敦子)

女子ダブルス 玉泉春美 ・ 上嶋亜友美 ペア

ミックスダブルス 中堀成生 ・ 上嶋亜友美 ペア

女子シングルス 渡邊梨恵

銀メダル 男子シングルス 高川経生

女子シングルス 河野加奈子

銅メダル 男子団体

(中堀成生・高川経生・花田直弥・川村達郎・菅野創世・小林幸司)

女子ダブルス 河野加奈子 ・ 濱中洋美 ペア

ミックスダブルス 玉泉春美 ・ 川村達郎 ペア

男子シングルス 菅野創世

5 位 男子ダブルス (中堀・高川ペア、花田・川村ペア、菅野・小林ペア)

ミックスダブルス (花田・濱中ペア)

(2) 第12回日・韓・中ジュニア交流競技会

中国・長春市に於いて、8月23日～28日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 横江 忠志 (高知小津高等学校教諭)
男子監督 小野寺 剛 (巢鴨学園高等学校教諭)
女子監督 林 三千夫 (和歌山信愛短期大学附属高等学校教諭)
視察員 笛岡 宣明 (豊丘高等学校教諭)
男子選手 玉川 裕司 (三重高等学校) 北見 和大 (岡山理科大学附属高等学校)
上嶋 俊介 (岡山理科大学附属高等学校) 長江 光一 (岡山理科大学附属高等学校)
横江 知彦 (高知小津高等学校) 横江 忠彦 (高知小津高等学校)
女子選手 小野 有紀 (就実高等学校) 篠埜 未知代 (就実高等学校)
杉本 瞳 (就実高等学校) 大庭 彩加 (就実高等学校)
上原 絵里 (上尾高等学校) 工藤 育美 (上尾高等学校)

イ. 参加国 日本、韓国、中国

ウ. 成績 男女とも1位

(3) 第3回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会 (上海)

中国・上海市に於いて、8月13日～16日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長 星野 博 (国際委員長)
男子監督 北本 英幸 (小松市立高等学校教諭)
女子監督 若梅 明彦 (九十九里高等学校教諭)
男子選手 森田 英世 (藤沢市役所)
浅川 陽介 (日体桜友会)
香川 大輔 (厚木市役所)
菅原 隆志 (東北福祉大クラブ)
女子選手 熊谷 浩子 (NTT西日本広島)
堀越 敦子 (NTT西日本広島)
辻 美和 (東芝姫路)
上嶋 亜友美 (東芝姫路)

イ. 参加国 日本、中国、中華台北、カナダ、韓国、モンゴル、ロシア

ウ. 成績 男子ダブルス 優勝 浅川 陽介・菅原 隆志 ペア
女子ダブルス 優勝 辻 美和・上嶋 亜友美 ペア
2位 熊谷 浩子・堀越 敦子 ペア
男子シングルス 優勝 浅川 陽介
2位 香川 大輔
女子シングルス 優勝 堀越 敦子
2位 辻 美和
ミックスダブルス 優勝 辻 美和・香川 大輔 ペア
2位 森田 英世・上嶋 亜友美 ペア

12. 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者の派遣

- ア 海外滞在中の松本雅男氏(カナダ・トロント市滞在)、武井紀明氏(インドネシア・ジャカルタ市滞在)を継続認定した。
- イ 玉木進氏(ハンガリー・ブタペスト市滞在)を新たに認定した。
- ウ タイランド連盟の要請により飯島清氏(群馬県)を9月20日から12月13日の3ヶ月間タイ・ナショナルチームのコーチとして派遣した。

(2) ヨーロッパジュニア交流大会(ハンガリー・ブタペスト)にジュニアチームを派遣

ハンガリー連盟の主催により、標記大会がブタペストにおいて開催され、日本から8月26日～9月1日まで、引率者(野口英一氏)と男子2名(八王子市立柵田中学校)、女子2名(文化女子大附属杉並中学・高等学校)を派遣した(原則自己負担)。

大会はハンガリー、チェコ、日本の参加により28日・29日の両日、団体戦と個人戦が行われた。

(3) ヨーロッパ各国への普及指導チームを派遣

1月14日から1月25日迄、ヨーロッパ各国の普及指導のため指導チームを派遣した。今回の訪問国は、これまでの活動成果を助長するためにハンガリー、チェコ、そして新たな普及活動として、オランダ、フランスで日本のトップコーチおよびプレーヤーの直接的な指導とデモンストレーションを主体にセミナーが開催され、各国の反応も上々であった。

《派遣メンバー》

団 長 西村信寛(副会長、国際ソフトテニス連盟事務総長)

役員同行 田辺理(ナガセケンコー(株))

役員同行 丹崎健一(国際委員)

コ ー チ 金治義昭(東芝姫路)

選 手 中堀成生・高川経生(NTT西日本広島)

玉泉春美・上嶋亜友美(東芝姫路)

《派遣先》

ハンガリー・ブタペスト市、チェコ・ブルノ市、オランダ・アムステルダム市、フランス・パリ市

(4) ドミニカ共和国等派遣

昨年に引き続き、佐々木寿氏(北海道)を団長とする指導者2名、選手2名の合計4名がドミニカ共和国を中心にキュラソー、プエルトリコを訪問し、現地の指導を行った(原則自己負担)。特にドミニカ共和国では、メンデス会長の努力により全国から参加した約50名の指導者(ハイチからの参加5名も含めて)に対し、3日間にわたり、セミナーが開催され、今後の普及活動に大きく貢献した。

(5) タイランド指導者の来日研修

タイランド・ブラハ大学のナルポン、サティポン両先生が3月25日から4月14日まで3週間来日し、ソフトテニスの研修を行った。

両氏は滞在中、大学や高校のソフトテニス練習や種々の施設を視察し、自分達もプレーをして、ソフトテニスの習得に努めた。帰国後は、タイランドの大学を中心にソフトテニスの普及活動を行うことにしている。

13. 国際大会の開催促進に関する事業

- (1) 2004年、第5回タイ・アジアソフトテニス選手権大会の実施に向け、タイ（バンコク・チェンマイ）に派遣。
タイ連盟の要請を受け10月18日から21日まで、西村信寛副会長（アジア連盟事務総長）・丹崎健一氏（国際委員）・橋本茂樹氏（国際委員）を大会準備状況の確認と開催に向け具体的な協議を行う。
- (2) 2005年、第4回マカオ・東アジア競技大会ソフトテニス競技実施に向け、マカオ・チャイナ組織委員会（MEAGOC）より担当者を2月4日から2月7日まで、大阪府に招請し準備状況の確認と組織委員会からの要請について打合せを行う。
- (3) 2006年 第15回ドーハ・アジア競技大会ソフトテニス競技実施に向け、9月20日から24日までドーハ（カタール）に、星野博氏（国際委員長）・丹崎健一氏（国際委員）を派遣し、ドーハ組織委員会（DAGOC）との具体的な協議を行う。

14. 連盟創立80周年記念式典・祝賀会を開催

1. 期日 平成16年12月4日
2. 会場 品川プリンスホテル
3. 内容
 - (1) 記念誌の作成
 - (2) 連盟創立80周年記念表彰
 - ① 支部 855名
 - ② 国際大会開催支部 6支部
 - ③ 協力団体
 - ④ 本部功労
 - (3) 平成16年度表彰
表彰者名簿の項参照
 - (4) 祝賀会
4. 出席者 354名
 - ① 来賓75名
 - ② 支部224名
 - ③ 本部55名

第2 庶務事項

1. 評議員会に関する事項

- (1) 書面審議による評議員会
ア 期 日 平成16年6月30日(水)
イ 審議事項 ①平成16年度事業報告について
②平成16年度収支決算報告について
- (2) 書面審議による評議員会
ア 期 日 平成16年10月5日(火)
イ 審議事項 ①平成16年度第一次補正予算について
- (3) 平成16年度評議員会
ア 期 日 平成16年12月5日(日)
イ 会 場 品川プリンスホテル新館6F「阿蘇」
ウ 審議事項
①平成17年度事業計画(案)・予算(案)について
②理事会提案について
・全日本インドア選手権大会出場予定選手について
・ナショナルチーム・ジュニアナショナルチームについて
・平成16年度1級審判員検定会・研修会について
・第5回アジア選手権大会日本選手団および役員派遣について
・倫理規定に基づく倫理委員会の新設
・競技者規程の改訂
・慶弔規程の改訂
・砂入り人工芝製造業者(公認継続と辞退)について
・国体改革(成年種別の年齢制限撤廃について)について
③支部提案について
④救援金について
⑤平成17年度評議員会等の開催日程について
⑥役員改選について

2. 理事会に関する事項

- (1) 第1回理事会
ア 期 日 平成16年6月5日(土)
イ 会 場 全日本中学校長会館
ウ 審 議 事 項
①平成15年度事業報告並びに収支決算報告について
②男子ナショナルチームメンバー追加承認について
③ソフトテニス用品・用具(ラケット)の公認申請について
④ソフトテニス用品・用具およびコート施設に関する公認規程に基づく公認申請について
⑤倫理規程(新設)について
⑥公認業者の社名変更について
⑦全国高校選抜大会の参加料値上げについて
⑧ユニフォームの着用基準について
⑨国体改革(案)の方針について
⑩第5回アジア選手権大会選手決定について

(2) 第2回理事会

ア 期 日 平成14年9月11日(土)

イ 会 場 全日本中学校長会館

ウ 審議事項

- ① 平成16年度第一次補正予算(案)について
- ② 2002～2006年の新長期基本方針の総括について
- ③ 平成17年度事業計画における予算の編成方針について
- ④ 公認メーカーの承認について
- ⑤ ソフトテニス用具・用品(ラケット)の公認申請について
- ⑥ JOCマーケティングプログラムについて
- ⑦ 競技者規程の改訂について
- ⑧ 傷害補償制度について

(3) 第3回理事会

ア 期 日 平成16年11月20日(土)

イ 会 場 全日本中学校長会間

ウ 審議事項

- ① 平成17年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ② 大会日程および開催について
- ③ ナショナルチーム・ジュニアナショナルチームについて
- ④ 2005年度版ハンドブック改訂の要旨について
- ⑤ 平成16年度表彰、支部功労者、優良団体および読売スポーツ賞について
- ⑥ 平成16年度1級審判員検定会・研修会について
- ⑦ 競技者育成プログラムについて
- ⑧ JOCマーケティングプログラムについて
- ⑨ 小・中学生の会員登録の有料化について
- ⑩ 規程の改訂について(競技者規程・慶弔規程・役員選出内規)および倫理委員会規程の新設
- ⑪ コート施設業者(東和織物株式会社)の扱いについて
- ⑫ 支部提案について
- ⑬ 役員改選について

(4) 第4回理事会

ア 期 日 平成16年12月4日(土)

イ 会 場 品川区民会館(きゅりあん5F-第4講習室)

ウ 審議事項

- ① 平成17年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- ② 80周年記念式典について
- ③ ソフトテニス用具・用品(ラケット)の公認申請について
- ④ コート施設業者の公認辞退について
- ⑤ 支部提案について
- ⑥ 救援金について

(5) 第5回理事会

ア 期 日 平成17年2月9日(土)

イ 会 場 ホテルサンルート品川シーサイド「会議室(風)」

ウ 審議事項

- ① 顧問の推薦について
- ② 専門委員会構成について
- ③ ソフトテニス用具・用品(ラケット)の公認申請について
- ④ コート施設業者の公認辞退について
- ⑤ 平成17年度理事会日程について

3. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会（部会）名	場 所
4	3	指導者育成部会	東京体育館
	3	会員登録有料化推進会議	東京体育館
	4	専門委員長および競技者資格委員会	東京体育館
	4	プログラム編成会議	東京都連盟
	10	競技者育成プログラム策定委員会	全国中学校長会館
	10	ルール委員会代表者会議	全国中学校長会館
	17	プログラム編成会議	東京都連盟
5	3・4	競技者育成プログラム策定検討部会	奈良県橿原公苑
	10	ルール委員会代表者会議	事務局
	15・16	競技者育成プログラム策定検討部会	愛知県一宮
6	12	ルール委員会	東京都連盟
	13	競技者育成プログラム策定合同会議	全国中学校長会館
	19	80周年記念準備会	東京都連盟
	25	医科学部会	東京龍名館
	26	生涯スポーツ委員会	全国中学校長会館
	27	公認メーカー打合せ	全国中学校長会館
7	3	競技者育成プログラム策定委員会	全国中学校長会館
	3	プログラム編成会議	東京都連盟
	10	プログラム編成会議	東京都連盟
	24	小学生部会	全国中学校長会館
	24	会員登録制度部会	全国中学校長会館
	24	プログラム編成会議	東京都連盟
	25	プログラム編成会議	東京都連盟
	25	競技者育成プログラム策定合同会議	全国中学校長会館
	28	強化部会	三重県鈴鹿市
31	プログラム編成会議	東京都連盟	
8	1	プログラム編成会議	東京都連盟
	25	競技者育成プログラム策定委員会	全国中学校長会館
9	11	プログラム編成会議	東京都連盟
	12	シニア部会	全国中学校長会館
	12	競技者育成プログラム策定委員会	全国中学校長会館
	18	ルール委員会	東京都連盟
	23	国体プログラム編成	岸記念体育会館
	25	強化部会	広島県総合体育館
	25	ジュニア強化部会	広島県総合体育館
	25	競技者育成プログラム策定委員会	広島県総合体育館
29	ドーピング判定委員会	八重洲龍名館	
10	9	プログラム編成会議	東京都連盟
	24	競技者育成プログラム策定委員会	狭山市民総合体育館

1 1	6	総務部会	県立広島体育館
1 2	2 5	指導者育成部会	全国中学校長会館
1	7	ルール委員会	東京都連盟
	9	委員長会議	東京体育館
	9	医科学部会・ドーピング委員会	東京体育館
2	1 9	競技者育成プログラム検討部会	品川シーサイド
	2 6	プログラム編成会議	東京都連盟
3	1 9	競技者育成プログラムプロジェクト会議	全国中学校長会館

- (2) 理事長会 10月31日(日) 品川シーサイド
小・中学生会員登録有料化について、44支部の出席を得て、意見集約をした。また、競技者育成プログラムの説明をした。
- (3) 選考委員会 11月21日(日) 全国中学校長会館
地区選出の選考委員により、役員選出内規に基づく選考をして、12月5日の評議員会に報告した。
- (4) 会員登録システム説明会 1月30日(日) 麴町学園
各支部代表者にシステム説明をし、改善についての指摘を受け、起動の準備をした。
- (5) 祝勝会 2月19日 品川シーサイド
第5回アジア選手権大会の金メダル獲得選手とスタッフを招待し、連盟役員、メーカー関係者 70名で祝賀会を開催した。

4-1. 理事・監事・評議員・専門委員・職員に関する事項

(1-1) 平成15～16年度 理事 22名

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体
会長	海部俊樹	学識経験者	理事	武鍬守	中国
副会長	林敏弘			横江忠志	四国
副会長	内田昌一			姫野嘉孝	九州
副会長	西村信寛				学連
専務理事	笠井達夫	会長推薦		朝倉文人	高体連
理事	佐藤正矩	北海道		佐々木悟	中体連
	本田茂雄	東北		会長推薦	
	藤原伸二	関東			
	星野博	東京			
	和歌浦信雄	北信越			
	斉藤元三	東海			
大西貞夫	近畿				

(2-1) 平成15～16年度 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
北村和久	三重	安田直之	群馬	山田耕司	山形

(3-1) 平成15～16年度 評議員 50名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部	
富樫康夫	北海道	高倉正和	富山	斎藤眞久	山口	
新保俊彦	青森	井上清一	石川	馬詰悟	徳島	
菊池栄光	岩手	川畑茂	福井	松浦充	香川	
佐藤脩	宮城	伊藤捷一	静岡	小村丈夫	愛媛	
萬正一	秋田	横野久美子	愛知	川島祥嗣	高知	
柏倉達雄	山形	内田政和	三重	四方泰雄	福岡	
川島登	福島	市原茂徳	岐阜	秀島洋子	佐賀	
飯村政次	茨城	福地茂	滋賀	西寛靖	長崎	
笥祐三久	栃木	山本毅	京都	吉田博紀	熊本	
峰哲彦	群馬	阿部宗一	大阪	片野秀樹	大分	
井下洪平	埼玉	正城与四次	兵庫	寺園囧順	宮崎	
石川雅利	千葉	高倉直樹	奈良	田中純夫	鹿児島	
柳下秋久	東京	筒井満	和歌山	仲間正弘	沖縄	
野田寛	神奈川	田中一雄	鳥取	亀井緑	西川尚子	日本学連
向山淳	山梨	永瀬一成	島根	津田誠	原田誠一郎	高体連
八子建悟	新潟	重平静洋	岡山	杉田好範		中体連
宮沢幸男	長野	神鳥泰次	広島			

(4-1) 平成15~16年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名
総務委員会	委員長：和歌浦 信 雄
総務部会	☆ 星野 博 大西 貞夫 佐藤 正矩 武 鍵 守 柳下 秋久 出石 稔
会員登録制度部会	☆ 和歌浦 信雄 朝倉 文人 佐々木 悟 今井 史郎 川島 登 中田 正雄 出石 稔 亀井緑・西川尚子 北 正 三
競技者資格審査委員会	☆ 笠井 達夫 和歌浦 信雄 小原 信幸 藤原 伸二 横江 忠志 西田 豊明 本田 茂雄 星野 博 若月 道隆
ルール委員会	委員長：小原 信 幸
ルール部会	☆ 今井 史郎 北村 和久 林田 正信 出石 稔 柳下 秋久
審判部会	☆ 北村 和久 今井 史郎 荒木 稜夫 林田 正信 岩本 義久 柳下 秋久
競技委員会	委員長：藤原 伸二
競技部会	☆ 斉藤 元三 宮下 恭子 亀井緑・西川尚子 朝倉 文人 佐々木 悟 武 鍵 守 長岡 敏久 君塚 亮一
プログラム編成部会	☆ 長岡 敏久 宮下 恭子 斉藤 元三 君塚 亮一 佐藤 健司 石川 雅利 中田 正雄 木谷 順三 小笠原 浩二 中野 吉広 山口 眞護 渡部 秀二 土崎 朋典
用具・施設部会	☆ 武 鍵 守 小原 信幸 竹島 弘
強化委員会	委員長：横江 忠志
強化部会	☆ 横江 忠志 西田 豊明 金治 義昭 木口 利充 大野 美紗子 神崎 公宏 斉藤 広宣 渡部 政治 若梅 明彦
ジュニア強化部会	☆ 西田 豊明 北本 英幸 中本 裕二 小野寺 剛 林 三千夫
医科学部会	☆ 福林 徹 石井 源信 水野 哲也 山本 裕二 工藤 敏巳 平田 悦造 楠堀 誠司
指導委員会	委員長：西田 豊明
指導者育成部会	☆ 石井 源信 石川 孝 渡部 政治 北本 英幸 小野寺 剛 井田 博史 神崎 公宏 榎並 紳吉 岡村 勝幸
等級制度部会	☆ 藤原 伸二 今井 史郎 荒木 稜夫
生涯スポーツ委員会	委員長：本田 茂雄
生涯スポーツ部会	☆ 本田 茂雄 佐藤 正矩 宮下 恭子 姫野 嘉孝 朝倉 文人 佐々木 悟 間宮 栄二 篠 埜 護 野 際 照章
小学生普及部会	☆ 佐藤 正矩 中村 正三 渡辺 武夫 青山 信正 中村 祐治 松口 康彦 芝地 康幸
シニア部会	☆ 宮下 恭子 姫野 嘉孝 大西 貞夫 時任 宥幸 田中 敏彦 横野 久美子 保倉 謙治 原田 公夫

(4-2) 平成15年～16年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名			
国際委員会	委員長：星野博			
	内藤享佑	西田豊明	宮本行夫	内藤尚男
	橋本茂樹	神鳥泰次	楠征洋	長岡敏久
	丹崎健一	大下真吾		
広報委員会	委員長：若月道隆			
広報部会	☆若月道隆	星野博	中山俊介	萩原廣一
	大高宏元	武鏈守	小野寺剛	
機関誌編集部会	☆田中美明	藤原伸二		
IT部会	☆工藤敏巳	武鏈守	小澤浩	大野勝敏
	脇田文雄	土崎朋典	内原繁	
ドーピング判定委員会	☆笠井達夫	福林徹	大西祥平	柳澤尚武
	藤原伸二			
ドーピングコントロール委員会	☆福林徹	平田悦造	永井博典	児島瑞夫
	大西祥平	水野哲也		

(5-1) 事務局職員 平成15～16年度

事務局長	瀬戸幹男 平成13年4月1日～	職員	西村眞澄	平成13年11月1日～
			竹田稔	平成10年4月1日～
			荒木明子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～
			山浦和博	平成16年5月1日～

4-2. 理事・監事・評議員・専門委員・職員に関する事項

(1-1) 平成17～18年度 理事 22名

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体
会長	海部俊樹	学識経験者	理事	武鍵守	中国
副会長	林敏弘			上田喜博	四国
副会長	西村信寛			姫野嘉孝	九州
副会長	表孟宏			北山敏隆	学連
専務理事	笠井達夫			山本照夫	高体連
理事	佐藤正矩	北海道		佐々木悟	中体連
	本田茂雄	東北		会長推薦	
	藤原伸二	関東			
	星野博	東京			
	和歌浦信雄	北信越			
	斉藤元三	東海			
	正城與四次	近畿			

(2-1) 平成17～18年度 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
北村和久	三重	安田直之	群馬	大西貞夫	大阪

(3-1) 平成17～18年度 評議員 50名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
富樫康夫	北海道	高倉正和	富山	斎藤眞久	山口
新保俊彦	青森	井上清一	石川	馬詰悟	徳島
菊池栄光	岩手	川畑茂	福井	松浦充	香川
松田孝志	宮城	落合敏男	静岡	小村丈夫	愛媛
萬正一	秋田	横野久美子	愛知	横江忠志	高知
山田耕司	山形	内田政和	三重	鶴崎剛	福岡
川島登	福島	市原茂徳	岐阜	江頭武典	佐賀
飯村政次	茨城	福地茂	滋賀	馬場信幸	長崎
田村哲二	栃木	山本毅	京都	吉田博紀	熊本
鈴木正彦	群馬	阿部宗一	大阪	片野秀樹	大分
井下洪平	埼玉	森崎俊夫	兵庫	寺園圀順	宮崎
石川雅利	千葉	高倉直樹	奈良	川端城	鹿児島
今井史郎	東京	筒井満	和歌山	仲間正弘	沖縄
野田寛	神奈川	安東健司	鳥取	西川尚子	日本学連
向山淳	山梨	森脇孝吉	島根	原田誠一郎	高体連
八子建悟	新潟	重平静洋	岡山	間中和男	中体連
宮沢幸男	長野	神鳥泰次	広島		

(4-1) 平成17~18年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名
総務委員会	委員長：和歌浦 信雄
	星野 博 大西 貞夫 佐藤 正矩 武鐘 守
	柳下 秋久 出石 稔
会員登録部会	☆佐々木 悟 今井 史郎 川島 登 中田 正雄
	北 正三 金子 知行 大西 由佳
競技者資格委員会	委員長：笠井 達夫
	和歌浦 信雄 藤原 伸二 小原 信幸 宮下 恭子
	佐々木 悟 山本 照夫 北山 敏隆
審判委員会	委員長：小原 信幸
	柳下 秋久 上田 喜博 今井 史郎 北村 和久
	林田 正信 出石 稔 荒木 稜夫 丹崎 健一
	田中 敏雄 蒲原 英敏 上山 親子 荒畑 鈴佳
競技委員会	委員長：藤原 伸二
	斉藤 元三 宮下 恭子 上田 喜博 長岡 敏久
	土崎 朋典 笛岡 宣明 君塚 亮一
	☆長岡 敏久 斉藤 元三 上田 喜博 佐藤 健司
	石川 雅利 木谷 順三 小笠原浩二 中野 吉広
	山口 眞護 渡部 秀二 土崎 朋典 池田 光雄
	木所 一典 小俣 三男 大川 京子 高川恵美子
用具・施設部会	☆斉藤 元三 武鐘 守 姫野 嘉孝 小原 信幸
強化委員会	委員長：西田 豊明
	武鐘 守 石井 源信 福林 徹 時安 繁
	金治 義昭 北本 英幸 神崎 公宏 斉藤 広宣
	渡部 政治 若梅 明彦
	☆武鐘 守 神崎 公宏 中本 裕二 小野寺 剛
	林 三千夫 岡村 勝幸
	☆福林 徹 石井 源信 水野 哲也 山本 裕二
工藤 敏巳 平田 悦造 楠堀 誠司 井田 博史	
指導委員会	委員長：石井 源信
	西田 豊明 斉藤 元三 渡部 政治 北本 英幸
	小野寺 剛 井田 博史 神崎 公宏 榎並 紳吉
	岡村 勝幸
等級制度部会	☆斉藤 元三 今井 史郎 荒木 稜夫
生涯スポーツ委員会	委員長：本田 茂雄
小学生普及部会	佐藤 正矩 宮下 恭子 姫野 嘉孝 正城與四次
	北山 敏隆 佐々木 悟 間宮 栄二 篠埜 護
	野際 照章 井上 創 西川 尚子
	☆佐藤 正矩 渡辺 武夫 松口 康彦 芝地 康幸
	石川 雅利 金岡 昭房 國枝 俊子
	☆宮下 恭子 姫野 嘉孝 正城與四次 大西 貞夫
	時任 宥幸 田中 敏彦 横野久美子 保倉 謙治
原田 公夫 大川 京子	
シニア部会	

(4-2) 平成17年～18年度 専門委員会(☆は部会長)

専門委員会名	委員名				
国際委員会	委員長：星野 博				
	西田 豊明	内藤 享佑	内藤 尚男	橋本 茂樹	
	神鳥 泰次	長岡 敏久	丹崎 健一	山口 正紀	
	福崎 穰司				
広報委員会	委員長：武鐘 守				
	星野 博	柳下 秋久	中山 俊介	萩原 廣一	
	大高 宏元	小野寺 剛			
機関誌編集部会	☆田中 美明		柳下 秋久		
IT部会	☆工藤 敏巳		小澤 浩	大野 勝敏	土崎 朋典
	内原 繁		北 正三		
ドーピング 判定委員会	☆笠井 達夫		福林 徹	大西 祥平	柳澤 尚武
ドーピング コントロール委員会	☆福林 徹		平田 悦造	永井 博典	児島 瑞夫
	大西 祥平		水野 哲也		
倫理委員会	委員長：林 敏弘				
	笠井 達夫		表 孟宏	西村 信寛	和歌浦 信雄
	藤原 伸二		宮下 恭子		

(5-1) 事務局職員 平成17～18年度

事務局長	瀬戸幹男 平成13年4月1日～	職員	西村眞澄	平成13年11月1日～
			竹田 稔	平成10年4月1日～
			荒木明子	平成3年5月1日～
			大八木洋子	平成13年4月1日～
			山浦和博	平成16年5月1日～

5. 会員登録制度の実施に関する事項

次のとおり会員が登録した。

(数値：名)

種 別	小学生	中学生	高校生	高 専	大学生	一 般	合 計
平成16年度	19,410	369,672	94,305	115	7,153	49,616	540,271
平成15年度	16,739	370,521	90,116	216	6,654	49,417	533,663
平成14年度	16,654	370,570	87,409	247	6,255	49,083	530,218
平成13年度	11,448	350,556	83,864		6,299	48,683	500,850
平成12年度	9,483	329,026	82,644		6,012	48,343	475,508

(注)都道府県別会員数は別表4(P39)に掲載

6. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

種別	高校生	高専	大学生	一般	合計
金額	47,152,500	57,500	3,576,500	49,616,000	100,402,500

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

(単位：千円)

用具・用品	金額	公認メーカー
ガット 5社	3,300	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・SRI スポーツ・ミズノ
ネット 9社	900	鐘屋産業・アシックス・松本製網・寺西喜商店・ミセキネット 昭和ゴム・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット
ラケット7社	700	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン ヒロウン・SRI スポーツ
ユニフォーム 10社	9,280	カワサキ・ミズノ・昭和ゴム・ヨネックス・ゴーセン・ゴールドウイン アシックス・ナイキジャパン・SRI スポーツ・アディダスジャパン
シューズ8社	3,360	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・ゴーセン・アディダスジャパン SRI スポーツ・ミズノ・ディアドラジャパン・ダイワ精工
ボール 2社	5,520	昭和ゴム・ナガセケンコー
計	23,060	

イ. 施設業者

(単位：千円)

	金額	社名
施設業者 5社	2,000	日本道路・東亜道路工業・NIPPO コーポレーション 奥アンツーカ・SRI ハイブリッド
砂入人工芝 製造業者 6社	3,000	SRI ハイブリッド・積水樹脂・大塚家具製造販売(株) ・菱 晃・東和織物・エスディーテック(ダイヤテックス)
計	5,000	

ウ. 一般

(単位：千円)

100	内田昌一	京都						
50	西村 信寛	東京	三田倶楽部	東京	稲門クラブ	東京		
30	佐藤正矩	北海道	奥田 忠雄	岐阜	本田 茂雄	宮城	朝倉 文人	埼玉
	宮下 恭子	大阪	大西 貞夫	大阪	北村 和久	三重	武鐘 守	広島
	斉藤 元三	愛知	星野 博	東京	今井 史郎	東京	姫野 嘉孝	大分
	笠井 達夫	神奈川	西田 豊明	神奈川	横江 忠志	高知	小原 信幸	岡山
	藤原 伸二	千葉	和歌浦信雄	新潟	柳下 秋久	東京	ミズノ	
	昭和ゴム		表 孟宏	兵庫	安田 直之	群馬	佐々木 悟	東京
10	原田 公夫	鳥取	福田 久恵	大阪	松井 松市	大阪	吉田 敏彦	京都
	鍵 紀代子	宮城	早川 敏生	愛知	横野久美子	愛知	青山 信正	愛知
	楠 武徳	千葉	中村 正三	千葉	石川 雅利	千葉	高木 睦弘	新潟
	長岡 敏久	埼玉	ナガセケンコー		平田 悦造	広島	松本 忠	宮城
	橋本 茂樹	福岡	北 正三	埼玉	倉田 裕司	大阪	松田 信穂	千葉
	田中 敏彦	山梨	内藤 享祐	神奈川	小野寺 剛	東京	中屋 卯三郎	岐阜
	林 三千夫	和歌山	時任 宥幸	東京	楠 征洋	奈良	竹島 弘	山口
	北本 英幸	石川	大野美紗子	東京	林田 正信	熊本	田中 美明	埼玉
	高松 政男	栃木	ショーコーポレーション		保倉 謙治	埼玉	篠埜 護	岡山
	東芝姫路	兵庫	林 岩雄	栃木	京浜商業印刷	東京	林 幸夫	福島
	内藤 尚男	神奈川	中山 俊介	神奈川				

7. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 助成金

(単位：円)

日本体育協会	国民体育大会役員旅費補助	603,860
	地域スポーツ指導者要請講習会	1,739,720
スポーツ振興基金	全国小学生大会補助	1,000,000
スポーツ振興くじ	ドーピング(3回)	170,000
ヨネックススポーツ振興財団	トータルスポーツクリニック	650,000

(2) 委託金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化事業(ナショナルチーム強化合宿)	2,056,000
-------------	----------------------	-----------

(3) 補助金

(単位：円)

日本オリンピック委員会	選手強化キャンペーン	1,118,000
	肖像権都度料	1,575,000

8. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 免税募金

ア、選手強化事業

(単位：千円)

200	林 敏弘
-----	------

(2) 協賛金

(単位：円)

ミズノ(株)「全日本インドアー大会協賛金」	250,000
ミズノ(株)「ナショナルチーム・ジュニアナショナルチーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナルチーム・ジュニアナショナルチーム協賛金」	2,000,000
ヨネックス(株)「ナショナル・ジュニアナショナルストリング協賛金」	500,000
(株)ゴーセン「ナショナル・ジュニアナショナルストリング協賛金」	500,000
全国書籍出版(ミニミニ)	4,500,000

(3) 寄付金

(単位：千円)

海部カップ実行委員会	海外普及協力金	300
日本ラケット工業協同組合	ジュニア育成関係	200
神鳥 泰次		100

(4) 新規公認

(単位：円)

(株)ゴールドウイン	ユニフォーム	5,000,000
ダイワ精工(株)	シューズ	5,000,000
アディダスジャパン(株)	ユニフォーム シューズ	10,000,000

平成 1 6 年度大会一覧表

別表 1-1

月	日	大会名	種別	会場	参加数
5	2～4	第5回アジア選手権大会 日本代表予選会	男子ダブルス	愛知県一宮市 テニス場	56ペア
			女子ダブルス		37ペア
5	15～17	全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	愛知県一宮市 テニス場	141人
			女子シングルス		108人
6	25～27	ハイスクールジャパンカップ	男子	北海道円山庭球場 苫小牧体育館	60ペア
			女子		60ペア
7	3～4	西日本シニア選手権大会	シニア男 45	京都府福知山市 三段池公園 テニスコート	58ペア
			シニア女 45		40ペア
			シニア男 50		52ペア
			シニア女 50		58ペア
			シニア男 55		45ペア
			シニア女 55		54ペア
			シニア男 60		45ペア
			シニア女 60		40ペア
			シニア男 65		30ペア
			シニア女 65		19ペア
			シニア男 70		22ペア
			シニア女 70		11ペア
			シニア男 75		11ペア
			シニア女 75		7ペア
7	19～20	西日本選手権大会	一般男子	和歌山県紀三井寺公園 海南島部市民運動公園 和歌山市立 市民テニスコート	237ペア
			一般女子		117ペア
			成年男子		88ペア
			成年女子		41ペア
7	19～20	東日本選手権大会	一般男子	浜松市花川テニスコート 有度山テニスコート	319ペア
			一般女子		112ペア
			成年男子		84ペア
			成年女子		56ペア
7	17～18	東日本シニア選手権大会	シニア男 45	西ヶ谷テニスコート	50ペア
			シニア女 45	西ヶ谷テニスコート	59ペア
			シニア男 50	有度山テニスコート	53ペア
			シニア女 50	有度山テニスコート	82ペア
			シニア男 55	草薙テニスコート	60ペア
			シニア女 55		69ペア
			シニア男 60		60ペア
			シニア女 60		68ペア
			シニア男 65		47ペア
			シニア女 65		29ペア
			シニア男 70		25ペア
			シニア女 70		16ペア
8	7～8	全日本実業団選手権大会	男子団体	岡山市浦安総合公園 テニスコート	141チーム
			女子団体	旭西浄化センター テニスコート	20チーム

別表 1-2

月	日	大会名	種別	会場	参加数
8	3～5	全日本レディース(個人戦)	ふじ(初心者)	松山市中央公園 愛媛県武道館 道後湯月コート 松山大御幸コート 愛媛厚生年金コート 今治市桜井コート	81ペア
			すみれ(23歳以上)		36ペア
			ばら(40歳以下)		104ペア
			ゆり(50歳以上)		130ペア
			きく(55歳以上)		134ペア
			あやめ(60歳以上)		161ペア
			はぎ(65歳以上)		83ペア
			さつき(70歳以上)		34ペア
			さくら(75歳以上)		26ペア
7～8	7・29 ～ 8・1	全日本小学生選手権大会	男子団体	山形市総合スポーツ センターテニスコート 山形県総合運動公園 テニスコート	48チーム
			女子団体		48チーム
			男子個人		192ペア
			女子個人		192ペア
8	2～6	全日本高校選手権大会	男子個人	島根県立松江市営 庭球場	322ペア
			女子個人		316ペア
			男子団体		48チーム
			女子団体		48チーム
8	8～13	全日本学生選手権大会	男子大学対抗	千葉県白子町 テニスコート	98校
			女子大学対抗		67校
			大学男子		512ペア
			大学女子		343ペア
			男子シングルス		63人
			女子シングルス		48人
8	20～22	全国中学校大会	男子個人	栃木県黒磯市総合運動場 テニスコート	64ペア
			女子個人		64ペア
			男子団体		16チーム
			女子団体		16チーム
8	23～25	全日本レディース決勝大会(団体戦)		千葉県総合スポーツセンター	48チーム
9	4～5	全日本社会人選手権大会	一般男子	千葉県白子町 テニスコート	244ペア
			一般女子		131ペア
			成年男子		107ペア
			成年女子		75ペア
9	3～5	全日本シニア選手権大会	男子45	福岡市営博多の森 テニス競技場 福岡県営春日公園 テニス競技場	98ペア
			女子45		95ペア
			男子50		87ペア
			女子50		96ペア
			男子55		97ペア
			女子55		99ペア
			男子60		95ペア
			女子60		81ペア
			男子65		59ペア
			女子65		42ペア
			男子70		36ペア
			女子70		18ペア
			男子75		10ペア
			女子75		12ペア
			混合45		66ペア
			混合50		75ペア
			混合55		60ペア
			混合60		50ペア
混合65	31ペア				

別表 1-3

月	日	大会名	種別	会場	参加数
9	4～5	JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子1部(13～17歳)	広島市中央庭球場	16ペア
			男子2部(18～20歳)		16ペア
			女子1部(13～17歳)		16ペア
			女子2部(18～20歳)		16ペア
9	24～26	全日本選手権大会	男子	広島市瀬野川公園 広島市中央庭球場	285ペア
			女子	広島県立体育館	254ペア
10	24～27	第58回国民体育大会	少年男子	静岡県草薙運動公園庭球場 静岡市有度山総合公園 テニスコート	777人
			少年女子		
			成年男子		
			成年女子		
11	1～7	第12回世界選手権大会	男子団体	広島市中央庭球場	21チーム
			女子団体		14チーム
			男子ダブルス		60ペア
			女子ダブルス		39ペア
			男子シングルス		77人
			女子シングルス		56人
			ミックスダブルス		56ペア
11	6～9	全日本クラブ選手権大会	男子団体	愛知県一宮 テニス場	120チーム
			女子団体		33チーム
11	13～14	日本実業団リーグ	男子	狭山市智光山公園 テニスコート	32チーム
			女子		10チーム
11	5～7	日本リーグ	男子	広島県総合体育館	8チーム
			女子		8チーム
2	1	全日本インドア選手権大会	男子	大阪市中央体育館	12ペア
			女子		12ペア
2	12～13	日本リーグ入替戦	男子	名古屋市露橋 スポーツセンター	4チーム
			女子		4チーム
3	26～28	都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	伊勢市営庭球場 三重県営サンアリーナ 三重県営体育館	48チーム
			女子団体		48チーム
			男子個人		192ペア
			女子個人		192ペア
3	29～30	全日本高校選抜大会	男子団体	名古屋市総合体育館	32チーム
			女子団体		32チーム
3	29～31	全国小学生大会	男子5年生の部	千葉県 白子町テニスコート	129ペア
			女子5年生の部		129ペア
			男子(4年生以下の部)		125ペア
			女子(4年生以下の部)		126ペア

別表 2

公認審判員認定者数

(平成17年3月31日現在)

支部	2級			ジュニア	1級		マスター		合計	
	新規	更新	高校		新規	更新	レフェリー	アンパイヤー		
1	北海道	478	274	336	1319	2		2		2411
2	青森	119	67	33	16					235
3	岩手	232	90	945	2193	2	5	1	1	3469
4	宮城	85	88	205	47	2	3	6		436
5	秋田	86	144	572	893	5	2	2		1704
6	山形	34	44	536	238	2	3			857
7	福島	64	112	511	246	1	12			946
8	茨城	85	148	588	25	4	5	1		856
9	栃木	124	71	523	16	5	8	6		753
10	群馬	86	82	493	385	2	7	1		1056
11	埼玉	361	391	3307		2	9	4	1	4075
12	千葉	246	266	1481	29	14	18	18		2072
13	東京	203	64	183	138	5	4	4	8	609
14	神奈川	258	76	388	3308		1			4031
15	山梨	70	50	182	300			1	6	609
16	新潟	121	73	1256		5			2	1457
17	長野	151	496	1097	16		3	3		1766
18	富山	3	91	479	13		23			609
19	石川	48	75	104	783		10	1		1021
20	福井	67	30	22	13			1		133
21	静岡	60	75	584	291	1	2	4	2	1019
22	愛知	235	252	41	16	4	15	7	6	576
23	三重	37	135	60	27	4	2			265
24	岐阜	64	117	264	73	2	5	1		526
25	滋賀	26	25	1453	2	2				1508
26	京都	36	57			2	15			110
27	大阪	149	162	293	14	3	10			631
28	兵庫	274		42		1	5			322
29	奈良	61	124	258	1			1		445
30	和歌山	85	55	20		60				220
31	鳥取	45	58	24		1	11	2		141
32	島根	20	91	312	28	4	1	5		461
33	岡山	65	42	38	12	5	8		1	171
34	広島	133	166	915	16	2	20	1	1	1254
35	山口	75	108	588	35	2	6			814
36	徳島	35	24	220	12		15	7		313
37	香川	33	21	222	16					292
38	愛媛	59	126	146	66		12	7		416
39	高知	24	5	130	14	3	6	2		184
40	福岡	212	60	301	17	1			1	592
41	佐賀	41	5	18	17	2	3			86
42	長崎	95	58	262	11					426
43	熊本	91	77	528	43		3			742
44	大分	63	34	103	16	3	7			226
45	宮崎	10		24	16					50
46	鹿児島	168	73	122	28					391
47	沖縄	36	50	37	38		3			164
48	日本学連	346	91							437
合計		5499	4823	20246	10787	153	262	88	29	41887

別表3

平成16年度 技術等級認定者数

(平成17年3月31日現在)

支部名	1級	2級	3級	4級	Sp	Ex	S-Sp	S-Ex	名譽指導員	マスター	合計
1 北海道	6	38			10						54
2 青森	6	3			4						13
3 岩手	1	14			2				1		18
4 宮城	7	9					1		1		18
5 秋田	1	13	76	3	7	2			5		107
6 山形	7	4									11
7 福島		35			3	1			6		45
8 茨城	10				7				26		43
9 栃木	1	24			2						27
10 群馬	9	15	3	4	9						40
11 埼玉	41	51	35	169	9	2	2	1			310
12 千葉	3	20			7	1			1		32
13 東京	148	41			9	5		2	1		206
14 神奈川	8	26			3						37
15 山梨	11	109	90	36	2						248
16 新潟	1	44					1				46
17 長野	13	2	315	2945	2				2		3279
18 富山	2				2	5					9
19 石川	2				4				9		15
20 福井											0
21 静岡	11	18		1	3	1					34
22 愛知	8	52	10	82	2	4	3	2	15		178
23 三重	11	19					1		8		39
24 岐阜	11	51			13	3					78
25 滋賀	2	10			4						16
26 京都	13	3				6					22
27 大阪	19	186	43	47	4	7	3			2	311
28 兵庫	17	28	5	22	1	3					76
29 奈良	7	2			11	3					23
30 和歌山	38	10									48
31 鳥取	2				3						5
32 島根	3				6						9
33 岡山	11	2			3	2					18
34 広島	21	40	2		7	6		2			78
35 山口	3	18	1		1			1			24
36 徳島		3			10	3					16
37 香川	3		14			4			3		24
38 愛媛	4	12			12						28
39 高知					4				1		5
40 福岡	1	8			2	1	2	3			17
41 佐賀	2	8									10
42 長崎	15										15
43 熊本		45	186	247	1			1			480
44 大分	1	1			2						4
45 宮崎		40	34	4							78
46 鹿児島	4	3			6	4		1			18
47 沖縄											0
48 日本学連	33	19			93	32					177
合計	517	1026	814	3560	270	95	13	13	79	2	6389

会員登録集計表(平成16年度)

別表4

平成17年3月31日現在

支部名	一般		小学生		中学生		高校生		高専		学連		合計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	179	2,542	24	680	234	8,525	158	3,849	1	6			596	15,602
青森	56	703	12	265	109	4,774	46	1,220					223	6,962
岩手	68	1,548	27	589	154	6,255	86	2,746					335	11,138
宮城	75	721	18	298	197	8,101	94	2,918					384	12,038
秋田	31	576	9	311	81	3,928	50	1,491					171	6,306
山形	36	658	15	411	74	3,998	49	1,598					174	6,665
福島	65	712	29	653	165	8,321	82	2,092					341	11,778
茨城	57	814	9	338	217	13,687	87	2,170					370	17,009
栃木	48	666	10	346	153	9,228	53	1,308					264	11,548
群馬	48	1,035	16	856	165	9,770	57	1,678					286	13,339
埼玉	257	4,590	29	1,330	596	21,522	210	4,757					1,092	32,199
千葉	127	2,054	18	638	349	19,232	130	3,496					624	25,420
東京	138	2,875	13	544	257	10,305	256	4,196					664	17,920
神奈川	114	1,414	10	422	348	19,392	143	3,273					615	24,501
山梨	40	421	12	341	83	3,893	36	1,030					171	5,685
新潟	71	1,178	20	634	144	5,107	73	1,797					308	8,716
長野	22	646	16	358	65	3,186	78	2,082					181	6,272
富山	24	508	13	357	69	3,350	33	1,134					139	5,349
石川	61	763	21	536	80	4,557	52	1,217					214	7,073
福井	42	679	5	229	44	2,073	19	717					110	3,698
静岡	123	1,527	15	668	301	16,883	92	1,832					531	20,910
愛知	141	2,813	19	906	318	21,572	151	6,445					629	31,736
三重	49	604	13	386	171	8,077	49	1,387	1	11			283	10,465
岐阜	58	997	19	766	260	8,998	52	1,935					389	12,696
滋賀	28	510	13	502	87	4,509	41	1,820					169	7,341
京都	96	959	15	454	108	5,574	58	1,489					277	8,476
大阪	100	2,018	14	425	301	16,518	193	3,340					608	22,301
兵庫	79	1,435	14	240	319	22,368	162	5,750					574	29,793
奈良	37	906	8	213	71	3,279	34	1,097					150	5,495
和歌山	60	684	6	242	120	5,568	39	1,076					225	7,570
鳥取	24	360	23	463	56	2,303	29	700					132	3,826
島根	52	474	7	276	48	1,984	43	991					150	3,725
岡山	69	596	16	392	154	8,588	78	2,466					317	12,042
広島	109	1,357	20	371	215	10,240	107	2,386					451	14,354
山口	74	1,000	7	256	138	7,276	72	1,976	2	62			293	10,570
徳島	25	456	7	153	103	3,210	33	674	1	26			169	4,519
香川	24	340	5	159	58	3,201	32	786					119	4,486
愛媛	39	503	11	222	137	5,777	79	1,354					266	7,856
高知	31	356	8	149	50	1,428	31	611					120	2,544
福岡	64	738	12	237	207	10,879	98	2,464	1	10			382	14,328
佐賀	24	360	11	264	76	3,834	43	847					154	5,305
長崎	24	1,167	12	254	168	7,607	106	2,491					310	11,519
熊本	70	1,145	15	251	150	5,877	66	1,651					301	8,924
大分	53	801	14	263	110	3,441	34	744					211	5,249
宮崎	63	702	16	355	170	3,368	47	1,156					296	5,581
鹿児島	102	1,311	18	267	217	5,937	101	1,461					438	8,976
沖縄	27	383	7	140	61	2,172	35	607					130	3,302
日本学連											512	7,153	512	7,153
日本連盟	1	11											1	11
合計	3,205	49,616	671	19,410	7,758	369,672	3,697	94,305	6	115	512	7,153	15,849	540,271
昨年度	3,188	49,417	626	16,739	7,791	370,521	3,679	90,116	9	216	503	6,654	15,796	533,663